



平成 30 年 4 月 20 日

各位

上場会社 高千穂交易株式会社
代表者 代表取締役社長 戸田秀雄
(コード番号 2676)
問合せ先責任者 取締役執行役員 管理本部長 植松昌澄
(TEL 03-3355-1111)

特別損失（減損損失）の計上および通期連結業績予想の修正、並びに中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社グループは、平成 30 年 3 月期において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。あわせて平成 29 年 5 月 10 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想および平成 28 年 5 月 11 日に公表しました中期経営計画を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失（減損損失）の計上について

平成 26 年 11 月に取得しました Guardfire Limited 及び Guardfire Singapore Pte. Ltd.（以下 Guardfire 社）の業績は、過去 3 年間の原油価格の低迷などに伴い、タイを中心とする ASEAN 諸国における石油・発電プラントの建設計画が遅れ、計画が未達成の状況にあります。このことを踏まえ、Guardfire 社ののれん等の固定資産について将来の回収可能性を慎重に検討した結果、その一部について回収可能価額まで減額し、特別損失（減損損失）2 億 53 百万円を計上する見込みであります。

なお、当事業については今後もグローバル事業の中核として、持続的な成長を目指してまいります。

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,000	1,000	1,000	650	69.60
今回修正予想 (B)	19,500	660	700	130	13.92
増減額 (B-A)	△1,500	△340	△300	△520	
増減率 (%)	△7.1	△34.0	△30.0	△80.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	19,037	500	700	279	29.66

(修正の理由)

今般修正した平成 30 年 3 月期通期連結業績予想におきましては、外資系を中心とした企業向け入退室管理や商品監視システムの更新需要による販売増などにより売上、営業利益は共に増収増益、経常利益は前年度水準を見込んでおります。しかしながら、原油価格の回復が想定していた時期よりも遅れたことにより Guardfire 社の販売が後ろ倒しになったことや、産機商品類における ATM、遊技市場向け機構部品の販売が減少したことなどにより、売上高・営業利益・経常利益共に当初の予想を下回る見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述した理由に加えて上記の特別損失（減損損失）を計上することにより、当初予想を大幅に下回る見込みとなりました。

なお、配当予想につきましては変更ありません。

3. 中期経営計画の修正について

当社は中期経営計画でV字回復を目指し、最終年度である平成31年3月期は連結経常利益15億円を目標に掲げ、「付加価値創出による既存事業の収益拡大」「グローバル事業の拡大」「新規ビジネスの創出」を成長戦略の軸として達成に向けた諸施策を推進しております。既存事業の中のセキュリティ事業において、企業向け入退室管理や店舗向け防犯システムなどを中心に中期経営計画を上回る見込みではありますが、前項で記載の通り、ATM市場縮小の影響や「グローバル事業の拡大」の遅れなどを考慮し、平成31年3月期に最終年度を迎える中期経営計画につきましては、下記の通り見直しを行い、修正することといたしました。

なお、中期経営計画で掲げている経営方針、事業戦略につきましては、変更はありません。当社グループは丸丸となって企業価値の向上を図るとともに、持続的な成長を目指してまいります。

	売上高	経常利益
	億円	億円
前回発表計画 (A)	255	15
今回修正計画 (B)	225	12
増減額 (B-A)	△30	△3
増減率 (%)	△11.8	△20.0

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上